

	令和4年度末までの取組み状況(主なもの) ※目標:R5目標数値 ※四角内は、メインで議論する分野別会議名	調査結果/国の動向等/取組みや調査結果等から見えてきた課題	次期計画に向けた検討の視点
③【安心】住みたい場所で安心して暮らせるまち 4 安心して生活できる環境づくり	1 高齢者に配慮した多様な住まいの普及・確保 地域包括支援に関する会議 ・すこやか住宅の改造助成 助成件数 R1:115件 → R4:79件 (目標:126件) ・サービス付き高齢者向け住宅の普及 登録戸数 R1:1,455戸 → R3:1,476戸 (目標:2,600戸) ・高齢者向け優良賃貸住宅の供給支援 入居率 R1:88% → R3:90.1% ・空き家における高齢化対応に資する住宅改修の費用補助 助成件数 R1:32件 → R3:108件 (目標:100件) ・市営住宅におけるバリアフリー化の推進 バリアフリー化率 R1:36% → R3:38% (目標値:40%) ・[再掲]高齢者の住宅相談の実施	高齢者等実態調査 ・現在住んでいる住宅で問題と感じる点 1位:「何も問題は感じていない」(一般:39.2%、在宅:37.6%) 2位:「住宅の構造や設備が高齢者には使いにくい」(一般:32.6%、在宅:33.7%)、 ・外出や移動のときに困っていることについて 「特に困っていることはない」最多だが、前回調査より減少 一般 R1:57.2%→R4:52.8% 在宅 R1:32.6%→R4:31.5% ・外出する際に最も多く使用する移動手段 一般高齢者 1位「自分が運転する自動車(39.0%)」 2位「JR、バスなどの公共交通機関(18.7%)」 3位「同居家族が運転する自動車(15.2%)」 在宅高齢者 1位「同居家族が運転する自動車(27.3%)」 2位「タクシー(21.4%)」 3位「JR、バスなどの公共交通機関(10.7%)」 (参考) 「自分が運転する自動車」+「同居家族が運転する自動車」一般 R1:59.1%→R4:54.2% 「JR、バスなどの公共交通機関」一般 R1:23.9%→R4:18.7%	<主な視点> ・介護ニーズ以外の生活面でのニーズにも対応し、既存の社会資源の有効活用も含め、住まいと生活の支援を適切に提供していくことも、地域共生社会の構築のための大きな課題となっている。 ・民間事業者による整備状況と高齢者のニーズを踏まえたサービス付き高齢者向け住宅政策や、自動車運転免許証の自主返納者へのサポート、インセンティブの充実や街なかのユニバーサルデザインの推進なども求められる。 ~地域包括ケアシステムの深化・推進に向けた視点~ 「住まい・移動」 高齢期の住まいや移動を支える資源の整備・活用に向けた取り組みが実施されているか。 「サービス整備」 高齢者や家族が、望む暮らしに合った介護サービスや生活支援を利用でき、生活を継続しているか。
	2 安心して外出できる環境づくり 地域包括支援に関する会議 ・人にやさしいまちづくりの推進 バリアフリーウィーク参加者数 R4:11,110人 ・シルバーひまわりサービスによる外出支援 利用件数 R4:4,241件 ・買い物応援ネットワークの推進 派遣回数 R4:30回 ・歩行空間のバリアフリー化 特定道路のバリアフリー整備延長 R1:93% → R4:98% (目標:99%) ・バス事業者の車両小型化による路線維持の支援 支援路線数 R3:12路線	国の動向 【住生活基本計画(R3)】 ・高齢者の安定した住まいの確保 ・ユニバーサルデザイン化の推進 【経済財政運営と改革の基本方針2023】 ・持続可能な社会保障制度の構築 急速な高齢化が見込まれる中で、医療機関の連携、介護サービス事業者の介護ロボット・ICT機器導入や協働化・大規模化、保有資産の状況なども踏まえた経営状況の見える化推進した上で、賃上げや業務負担軽減が適切に図られるよう取り組む 【改正道路交通法(R4)】 ・75歳以上の免許更新手続について以下の3点が改正(75歳以上の免許更新の厳格化) ①認知機能検査の検査方法の変更 ②高齢者講習の一元化 ③運転技能検査の新設 ※[参考]警察庁による自主返納及び運転経歴証明書制度の周知徹底が進められている	
	3 安全・安心な環境づくり 地域包括支援に関する会議 ・「終活」に関する相談と支援 相談件数 R4:116件 ・あんしん情報セットの普及 配布数 R4:1,269個 ・福祉避難所の設置 福祉避難所協定施設数 R2:82施設 → R4:84施設 (目標:88施設) ・高齢者向け交通安全の推進 高齢者交通事故発生件数 R1:1,854件 → R4:1,418件 (目標:1,480件) ・避難行動要支援者避難支援のための仕組みづくり 避難支援個別計画の作成割合 R1(1月時点):30.7% → R4:57.7% (目標:70%) ・高齢者の住宅防火対策の推進 住宅用火災警報器の設置率 R1:85% → R4:87% [参考] 北九州市高齢者・障害者住まい探しの協力店紹介制度 協力店数 R4:90店	課題 【多様な住まいの提供】 ・ニーズに対応した多様な住まいの確保 ・高齢者に配慮した住居の確保、入居の支援 ・高齢者が希望する高齢者住宅を選択するために必要な情報提供のあり方 【高齢者の移動支援策の充実】 ・公共交通空白地域への対応 ・運転免許証返納者へのサポート 【高齢者向け生活環境づくり】 ・関係部局、民間企業との連携	
	4 高齢者向けサービス産業の支援 介護保険に関する会議 ・介護分野におけるロボット技術等の開発・改良 R4:ロボット開発4件、相談対応81回		

空 白